

■専門部会における検討項目について

大項目	中項目	小項目	市民検討会
被災臨海地域の産業・経済 再建	工業港の復旧・復興	工業港の復旧整備	「公共バース」と「企業バース」の行政による一体的な整備//工業港の復旧高さの決定
		工業港の活用とポートセールス	災害に対応した物流機能構築と支援、
	漁港の復旧・復興	漁港の復旧、復興、集約化	岸壁が地盤沈下施設岸・係留できない/被害の少ない漁港を早急に共通の水揚げ基地に
		海岸保全施設（防波堤、防潮堤）の整備	
		水産加工団地の整備	これまで 11 回の水産復興会議、少なくとも床下浸水は可。その中で高台か高い建物か経済活動とあわせ反映/加工団地の復旧高さの早期決定/加工団地を継続使用するか集団移転するか早期決定/加工場の移転には汚水処理・排水問題が課題/冷凍加工業者は現位置再建・高床式で防災対策の方針/水産加工団地のあり方・管理棟(魚市場)再建のプロジェクトチーム設置・検討(決定事項)/災害に強い加工団地/同じ場所での仮復旧と本復旧は成功例がない
石巻地方水産卸売市場の整備	多機能(観光等)を持つ管理棟(魚市場)整備/漁港背後地を国が一括買収・一括整備//国が現在地買い上げ・整備は非現実的であり方針を早期に提示//魚市場を早期に再開(青空魚市場でも可とする)		
被災農林業の 再建	被災水産業への再建支援	水産加工業の復旧支援	リース形式の水産加工場(団地)の整備/仮復旧の施設は衛生面の問題あり/他地区から企業誘致の動きがあるので団地活用方針の早期決定と優遇策の創設、
		水産業共同利用施設等の再建支援 漁業支援センターなどの整備検討	排水処理能力が 4 万 t から 1 千 t 程度に低下、
	被災農林業への再建支援	農林業の復旧支援	ほ場整備が終わったばかり、今後もやれることはやりたい/塩水対策など/農地のガレキ処理について市の方針提示/施設園芸の被害把握と復旧支援/農地は市街化区域にせず、生産基盤を復旧
商工業・観光 の再生復興	商業の再建復興	中心市街地商店街の復旧・復興	安全と商店街の景観や買い物の場としての整合//職住近接/再開発に疑心暗鬼であり早期にマスタープラン作成/再開発は 4, 5 箇所程度を想定・現制度の課題と推進策/中心市街地整備には権利調整が難しく地権者の協力が必要、私権の制限/復興のため私権を制限した新たなまちづくり、
		中心市街地商店街の避難ネットワークの整備	避難ビルの設置//中心市街地へのアクセス道路は狭く路線も少ない、
		地域商店街等の復旧・復興	中心商店街は、堤防の高さは他地区と違う/市民市場を設置しテナントを多く入れる/震災ブランドを活用した経済活動
		各商業エリアにおける集客支援策	商店街復興のためには外部から来て消費してもらう、
	工業の再生復興	工場等の応急修理、再建の支援	石巻ガス本復旧プラント整備のため地盤高を早期に提示
		共同仮設工場での営業再開の検討	
	観光業・施設の再生復興	観光施設の復旧・復興	漫画館を仮復旧でもいいから早期再開/中に多国語表示の案内サイン設置
		復興促進イベントの開催	8 月 1 日の「川開き」は「追悼イベント」として実施、
		新規観光戦略施設の整備検討	「防災ツアー」・「体験ツアー」などの企画/宿泊型観光の誘致/中瀬や中心部への観光資源の集積/サン・ファン・パウティスタを中瀬に
	産業の活性化と新産業の 育成	新エネルギー産業等の導入検討	
		震災総合特区を活用した企業誘致	特区による税の免除・軽減
	雇用の維持と就業	地元雇用保全策の検討	若い世代働ける場所の確保が急務/働く場の創出に向けた希望の持てる街
雇用維持のための支援策の検討			
農商工連携などによる産業再生と雇用			
その他の再生 復興	産業廃棄物等の処理	ガレキの処理方法、利活用の検討	工場の資材・製品の保管方法の検討/冷凍廃棄物(5 万 t)海洋投棄を組合が実施、
	ボランティアの活用		ボランティアの持つ情報を有効活用
	震災に係る身元不明者の遺骨等の取扱い		

※その他、特区による津波保険/復興への民間活力の活用（税制、制度の解決）